



町内の3人が出場決定

全国大会へ向け技を磨く



阿久根市の三笠柔道スポーツ少年団（古賀正男団長）に所属する、小島大尚君（田尻小6年）、竹山真平君（城川内小6年）、小島孝太君（川床中3年）の3人が、全国大会出場の切符を手に入れました。

小島大尚君と孝太君は兄弟での出場という偉業も同時に達成しました。

3人が所属する同少年団は20人ほどの団員のうち町内から通う児童、生徒らが約半数を占めていて、古賀団長や石原英明総監督の指導のもと厳しい稽古を積んでいます。

3人は、6月から7月にかけて開催された県大会でそれぞれ優勝し全国大会出場を決めました。

兄・孝太君の影響を受け、5

歳で柔道を始めた大尚君は「勝敗を決めることが柔道をやっているに楽しい。勝つたらずごく嬉しい」と話し、「走ったりするのはきついけど練習は楽しい」と笑顔をみせました。

真平君は大尚君と同じ小学6年生。体力づくりのため、1年生から柔道を始めました。「内股」が得意で、「相手を投げて勝つのが柔道の好きなところ」と話しました。

団員の中でもひととき大きな体格の持ち主の孝太君は、友だちが柔道をしていたことで興味を持ったのがきっかけでした。小学1年生から始めて9年が経過。県大会では、並み居る強豪に競り勝ち、栄光を手に入れました。

た。

古賀団長は、「団創設以来の快挙で嬉しい。これから期待の持てる子どもたちで、指導にも熱が入る」と話しました。

3人に全国大会の目標を尋ねると「1回でも多く勝ちたい。そのために練習をもっと頑張る」（大尚君）、「賞状をもらえるように、得意の内股や自主練習を頑張る」（真平君）、「最低でも8位入賞。練習して、一本がとれる技を磨く」（孝太君）と話してくれました。

3人は、迫る大舞台に向け技に磨きをかけています。3人が出場する大会は次のとおりです。

小島 大尚君

大会名 全国小学生学年別柔道大会（個人戦）
開催日 8月17日（日）
場所 盛岡市アイスアリーナ（岩手県）

小島 孝太君

大会名 全国中学生柔道大会（個人戦）
開催日 8月22日（金）
場所 愛媛県武道館（松山市）

竹山 真平君

大会名 文部科学大臣杯全国少年柔道大会（団体戦）
開催日 10月13日（月）
場所 講道館（東京都）